老人福祉センターに関するアンケート
調査結果報告書

令和7年（2025 年）2月

城陽市

目次

Ⅰ．調査の概要 …… 1

１　調査目的 …… 2

２　実施要領 …… 2

３　回答件数 …… 2

４　報告書の見方 …… 2

５　調査結果の概要 …… 3

Ⅱ．調査の結果 …… 5

問１　あなたのお住まいの小学校区はどちらですか。 …… 6

問２　あなたの満年齢は何歳ですか。 …… 6

問３　あなたは老人福祉センターを知っていますか。 …… 7

問４　あなたは老人福祉センターを利用されていますか。 …… 7

問５　利用している方にお尋ねします。いつから利用されていますか。 …… 8

問６　主に利用されている老人福祉センターはどこですか。 …… 8

問７　老人福祉センターを利用する目的は何ですか。 …… 9

問８　老人福祉センターの利用回数はどれくらいですか。 …… 9

問９　利用していない方にお尋ねします。利用されていない主な理由は何ですか。 …… 10

問１０　老人福祉センターの利用者が減少傾向にあります。今後の方向性についてどのようにお考えですか。 …… 10

問１１　実施事業等を充実するとすれば、どのような方法が良いとお考えですか。 …… 11

問１２　入浴サービスについては、令和２年３月より中止していますが、これまでに利用されたことはありますか。 …… 11

問１３　入浴サービスの利用理由を教えてください。 …… 12

問１４　入浴サービスを廃止するとすれば、どのように思われますか。 …… 12

Ⅰ．調査の概要

Ⅰ．調査の概要

１　調査目的

市内に４箇所設置されている老人福祉センターについて、現在の利用状況等を把握するとともに、幅広い世代に調査を行い、老人福祉センターの今後のあり方を検討するための基礎資料とすることを目的とします。

２　実施要領

（1）調査対象

城陽市内在住者・在勤者

（2）調査方法

①各老人福祉センター、各コミュニティセンターの施設内にアンケート用紙を設置・回収。

②城陽市高齢者クラブ連合会、城陽市民生児童委員協議会、城陽青年会議所、各コミュニティセンター運営委員会にアンケート用紙を配布し、郵送または持参により回収。

③市公式 LINE、X（旧 Twitter）、Facebook 及びホームページに掲載し、WEB で回答。

（3）調査基準日

令和６年（2024年）11 月1日（金）

（4）調査期間

令和６年（2024年）11 月1日（金）～１１月２９日（金）

３　回答件数

８８６件

４　報告書の見方

○ 回答結果の割合「%」は有効回答数に対して、それぞれの回答数の割合を小数点以下第２位で四捨五入したものです。そのため、単数回答であっても合計値が 100.0%にならない場合があります。

○ 複数回答の設問の場合、回答は選択肢ごとの有効回答数に対して、それぞれの割合を示しています。そのため、合計が 100.0%を超える場合があります。

○ 図表中において、「無回答」とあるものは、回答が示されていない、または回答の判別が著しく困難なものです。

○ 図表中の「n（number of case の略）」は、有効標本数（集計対象者総数）を表しています。

５　調査結果の概要

（１）老人福祉センターの利用について

老人福祉センターを知っているかどうかについて、「知っている」が約７割、「知らない」が約３割となっています。

老人福祉センターを利用されているかどうかについては、「利用している」が約５割、「利用していない」が約４割となっています。利用している人がいつから利用しているかについては、「令和２年３月以前（コロナ禍以前）」が約７割、「令和２年４月以降（コロナ禍以降）」が約３割となっています。

（２）老人福祉センターを利用する目的について

主に利用している老人福祉センターは「陽寿苑」が約４割、「陽和苑」が約４割、「陽幸苑」と「陽東苑」がそれぞれ約１割となっています。

利用する目的は「サークル活動や各種教室等への参加」が約３割、「健康器具（ヘルストロン等）の利用」、「健康相談」がそれぞれ約２割となっています。

利用回数については「週２～３回」が約３割、「月１～２回」、「週４～５回」がそれぞれ約２割となっています。

（３）今後の方向性について

老人福祉センターの今後の方向性については「実施事業等を充実させる」が約４割、「今のままでよい」が約３割となっています。実施事業等の充実については「地域との交流の充実」、「多世代利用の充実」がそれぞれ約３割となっています。

（４）入浴サービスについて

入浴サービスについては「利用したことがない」が約８割、「利用したことがある」が約１割となっています。

利用理由については「娯楽やリラクゼーションとして利用」が約３割、「家のお風呂代わりとして利用」、「家で一人で入浴することが不安」がそれぞれ約２割となっています。

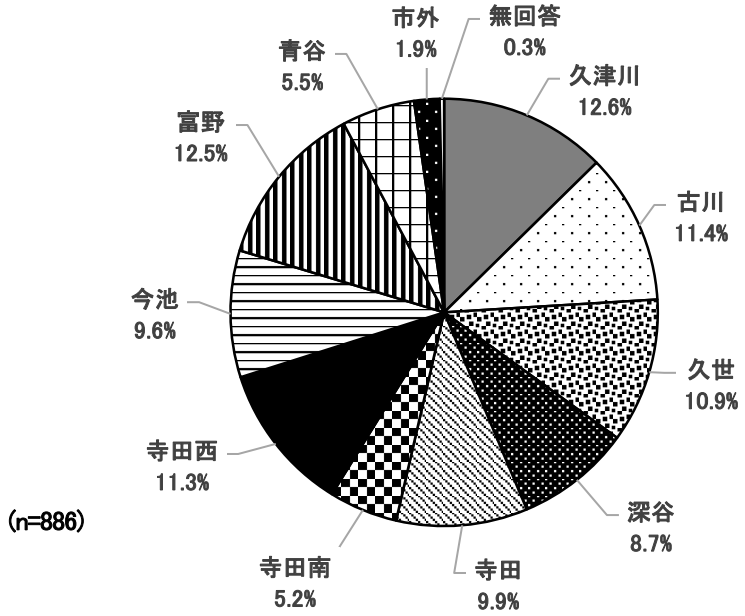
入浴サービスの廃止については「賛成」と「どちらかと言えば賛成」を合わせた回答が約５割、「反対」と「どちらかと言えば反対」を合わせた回答が約４割となっています。

Ⅱ．調査の結果

Ⅱ．調査の結果

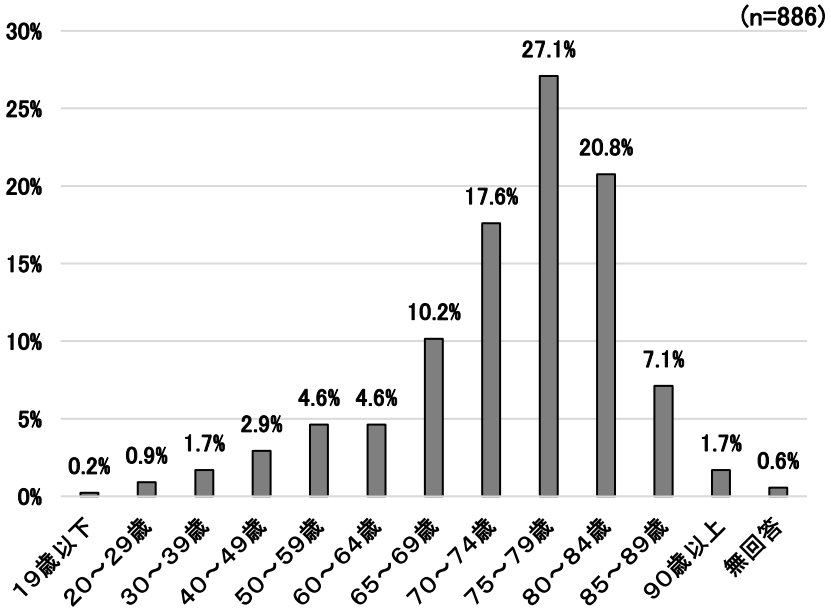
問１　あなたのお住いの小学校区はどちらですか。

「久津川小学校区」と回答した割合が12.6%と最も多く、次いで「富野小学校区」（12.5%）、「古川小学校区」（11.4%）の順となっている。



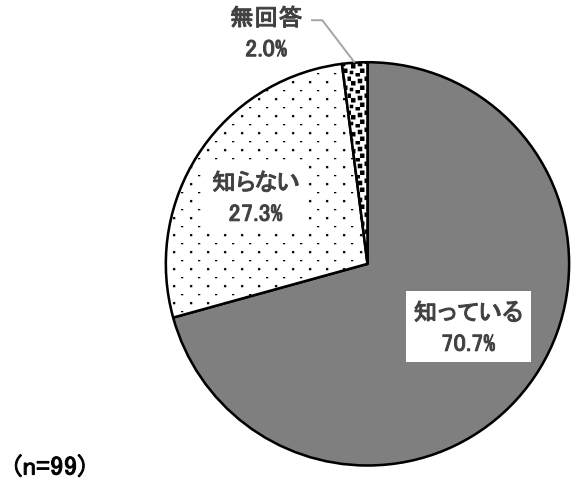
問２　あなたの満年齢は何歳ですか。［令和６年１１月１日現在］

「７５～７９歳」と回答した人が27.1%と最も多く、次いで「８０～８４歳」（20.8%）、「７０～７４歳」（17.6%）の順となっている。



問３　あなたは老人福祉センターを知っていますか。

「知っている」と回答した割合が 70.7%、「知らない」と回答した割合が 27.3%となっている。

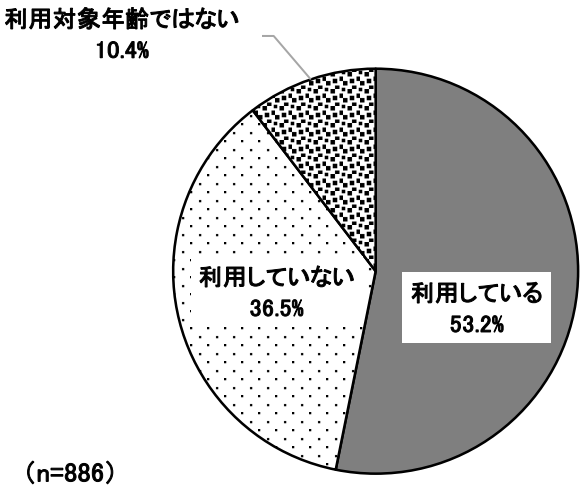


（n=99）

問４　あなたは老人福祉センターを利用されていますか。

（60 歳以上が利用対象です。）

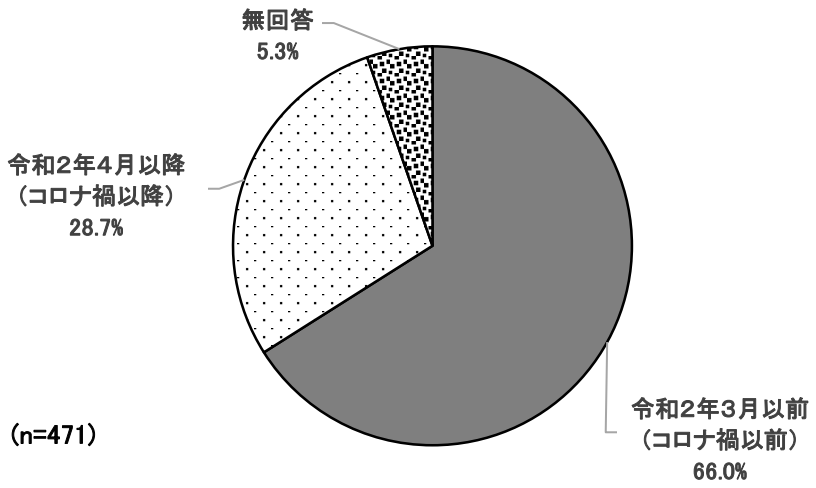
「利用している」と回答した割合が 53.2%、「利用していない」が 36.5%、「利用対象年齢ではない」が 10.4%となっている。



（n=886）

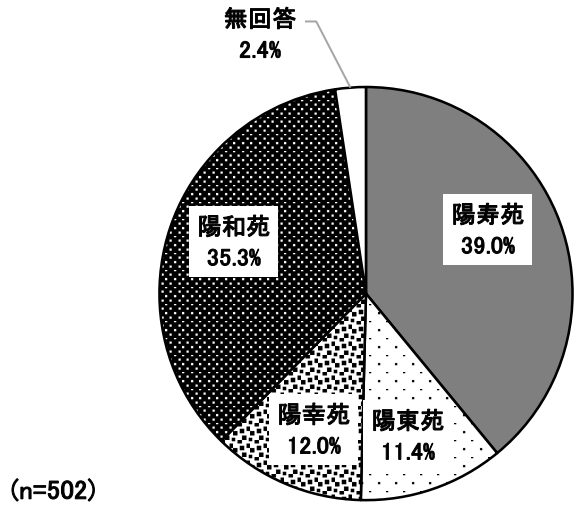
問５　利用している方にお尋ねします。いつから利用されていますか。

「令和２年３月以前（コロナ禍以前）」と回答した割合が66.0%、「令和２年４月以降（コロナ禍以降）」と回答した割合が28.7%となっている。



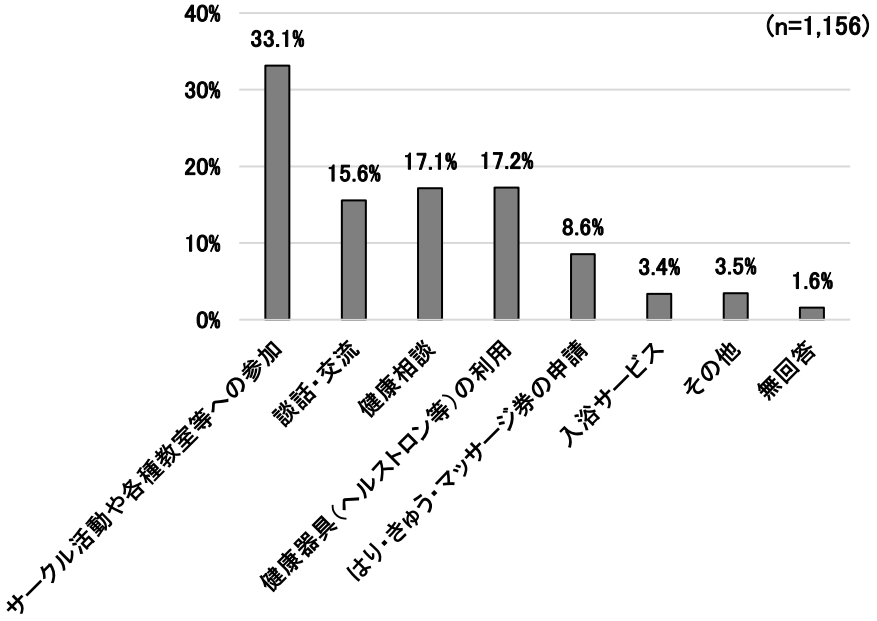
問６　主に利用されている老人福祉センターはどこですか。

「陽寿苑」と回答した割合が39.0%と最も多く、次いで「陽和苑」（35.3%）、「陽幸苑」（12.0%）、「陽東苑」（11.4%）の順となっている。



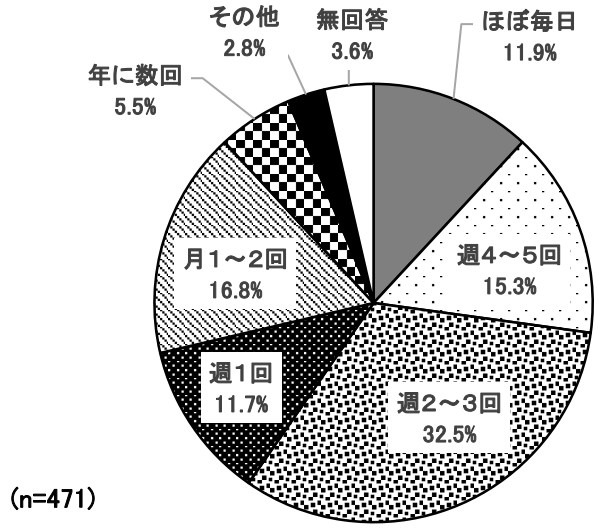
問７　老人福祉センターを利用する目的は何ですか。（複数回答可）

「サークル活動や各種教室等への参加」と回答した割合が33.1%と最も多く、次いで「健康器具（ヘルストロン等）の利用」（17.2%）、「健康相談」（17.1%）、「談話・交流」（15.6%）の順となっている。



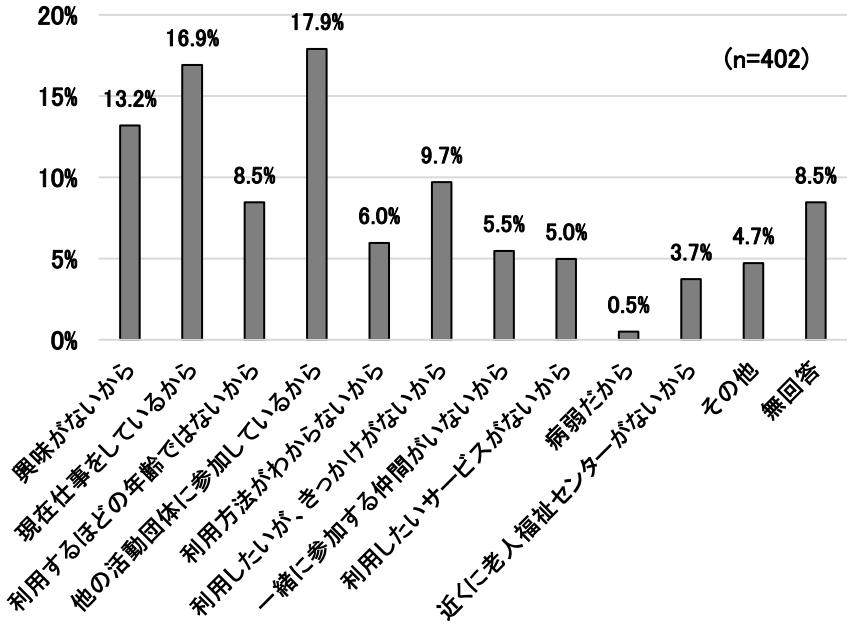
問８　老人福祉センターの利用回数はどれくらいですか。

「週2～3回」と回答した割合が32.5%と最も多く、次いで「月1～2回」（16.8%）、「週4～5回」（15.3%）の順となっている。



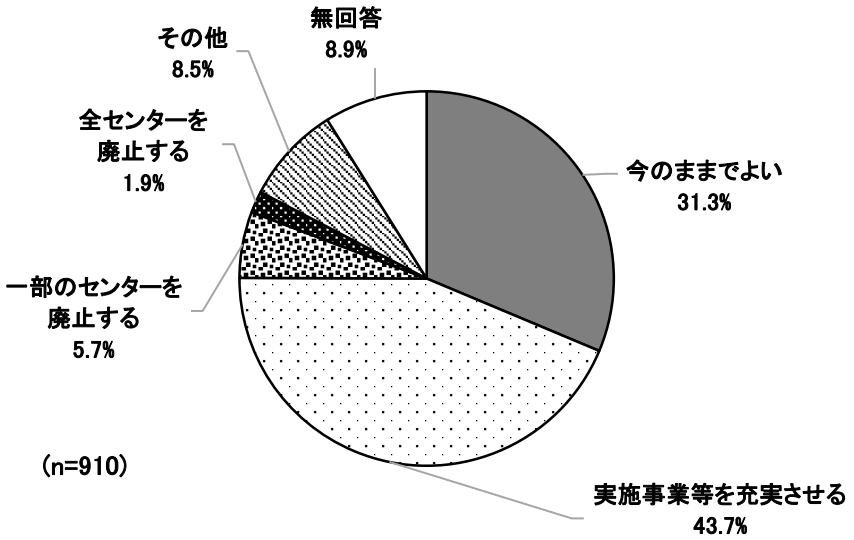
問９　利用していない方にお尋ねします。利用されていない主な理由は何ですか。

「他の活動団体に参加しているから」と回答した割合が 17.9%と最も多く、次いで「現在仕事をしているから」（16.9%）、「興味がないから」（13.2%）の順となっている。



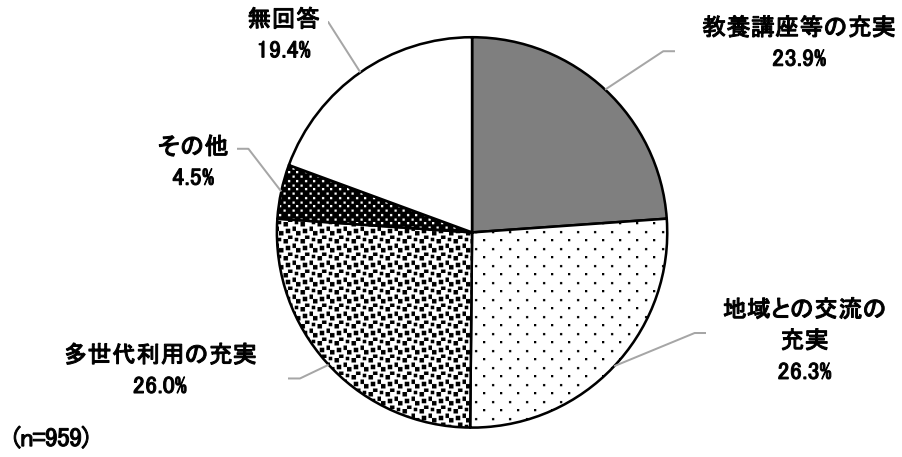
問 10　老人福祉センターの利用者が減少傾向にあります。今後の方向性についてどのようにお考えですか。

「実施事業等を充実させる」と回答した割合が 43.7%と最も多く、次いで「今のままでよい」（31.3%）、「無回答」（8.9%）の順となっている。



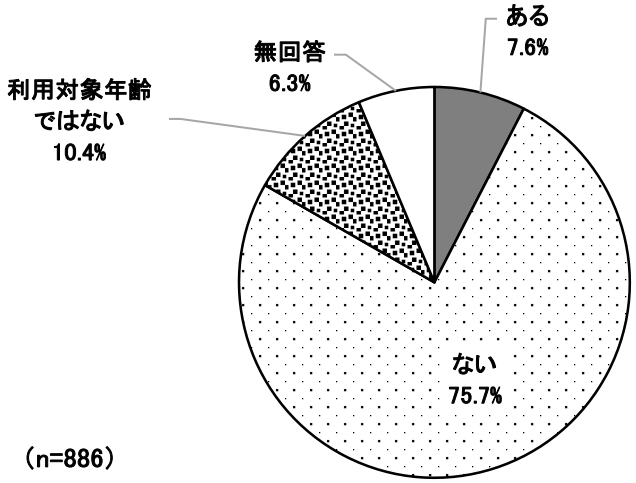
問 11　実施事業等を充実するとすれば、どのような方法が良いとお考えですか。

「地域との交流の充実」と回答した割合が 26.3%と最も多く、次いで「多世代利用の充実」（26.0%）、「教養講座等の充実」（23.9%）の順となっている。



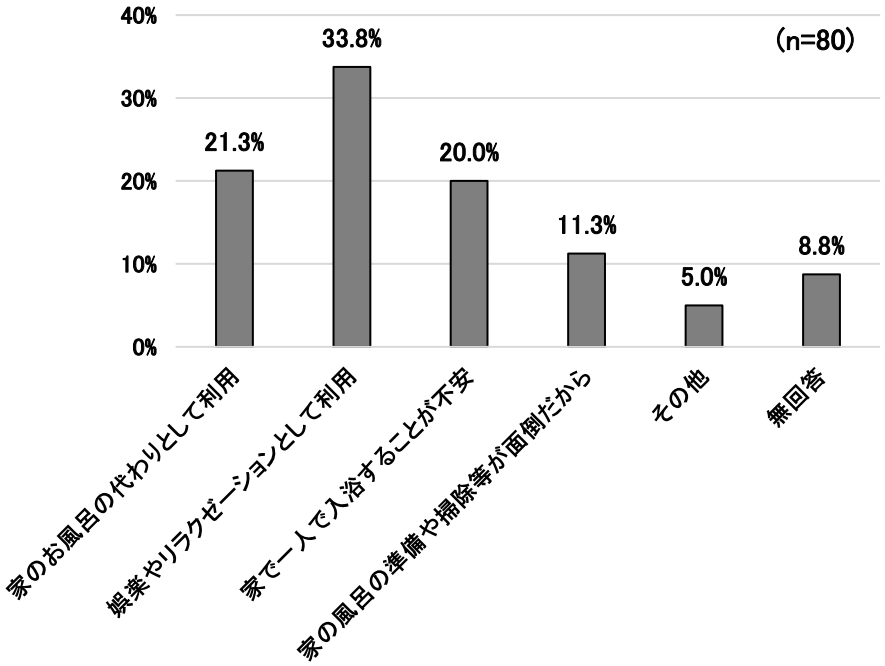
問 12　入浴サービスについては、令和２年３月より中止していますが、これまでに利用されたことはありますか。

「ある」と回答した割合が 7.6%、「ない」が 75.7%、「利用対象年齢ではない」が 10.4%となっている。



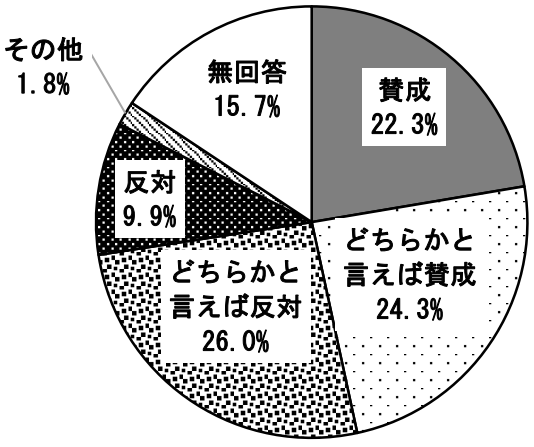
問 13　入浴サービスの利用理由を教えてください。

「娯楽やリラクゼーションとして利用」と回答した割合が 33.8%と最も多く、次いで「家のお風呂の代わりとして利用」（21.3%）、「家で一人で入浴することが不安」（20.0%）の順となっている。



問 14　入浴サービスを廃止するとすれば、どのように思われますか。

「賛成」・「どちらかと言えば賛成」と回答した割合が 46.6%、「反対」・「どちらかと言えば反対」と回答した割合が 35.9%となっている。



(n=886)